



六つの目標はいずれも 2050 年を達成年としている。目標の一つは「人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会の実現」。ロボットと、複数の人が遠隔操作する多数のAvatarを組み合わせて、大規模で複雑なタスクを実行するための技術を開発し、その運用に必要な基盤を構築する、としている。これによって、若者から高齢者まで誰もが多様なライフスタイルを追求することができ、さらにネットワークを介した国際協力によってさまざまな企業、組織、個人が参加した新しいビジネスを実現できる社会が期待できるとしている。

これと似たもう一つの目標が「AI（人工知能）とロボットの共進化によって自ら学習・行動し人間と共生するロボットの実現」。人間と同等以上の身体能力を持ち、人の人生に寄り添って一緒に成長もする AI ロボットを開発し、さらに自然科学の領域で自ら思考・行動し、自動的に科学的原理・解法の発見も可能な AI ロボットの開発などを目指す、というものだ。人の感性、倫理観を共有し、人と一緒に成長するパートナーAI ロボットによって、豊かな暮らしが可能になる。さらに実験結果から新たな仮説を生成し、仮説の検証、実験を自動的に行い、新たな発見を行う AI ロボットが開発する医薬品や、技術などによっても豊かな暮らしが実現する、としている。



「AI(人工知能)とロボットの共進化によって自ら学習・行動し人間と共生するロボット」が実現した社会の想像図(統合イノベーション戦略推進会議資料から)

このほか、次のような目標が打ち出されている。「超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現」、「地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現」、「未利用の生物機能などのフル活用により、地球規模で無理・無駄のない持続的な食料供給産業を創出」、「経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる『誤り耐性型(計算途中のエラーを訂正する能力を持つ)汎用量子コンピューター』を実現」。

これら四つの目標も達成時期を2050年としているが、六つの目標全てが、2030年時点での目標も併せて明示しているのが特徴。例えば「地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現」については、2030年までに、温室効果ガスに対する循環技術を開発し、ライフサイクルアセスメント(ある製品が生産されてから廃棄されるまでの間に、環境に与える影響や

負荷評価) の観点からも友好であることをパイロット規模で確認する、という目標が設けられている。



「ムーンショット国際シンポジウム」(2019年12月17日、ベルサール東京日本橋)

ムーンショット型研究開発制度に対しては、既に2018年度補正予算で1,000億円、2019年度予算で20億円がついており、さらに12月13日に閣議決定された今年度の補正予算案で150億円が計上されている。研究開発に関わる業務を行う機関として国立研究開発法人の科学技術振興機構と新エネルギー・産業技術総合開発機構も決定済み。日本政府は、米国やEU(欧州連合)との協力を得ることに熱心で、昨年12月17、18日に東京都内で開催された「ムーンショット国際シンポジウム」には、米国からホワイトハウス科学技術政策局長、エネルギー省科学局長、国立科学財団国際科学工学部長、欧州委員会から研究イノベーション総局次長らのほか、民間で意欲的な研究開発事業を展開している米国のX社(旧Google X) CEO、XPRIIZE財団CEOなどが招かれ、基調講演やプレゼンテーションを行っている。

日文 小岩井忠道 (JST 客観日本編集部)

関連サイト

統合イノベーション戦略推進会議(第6回)

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tougou-innovation/dai6/gijisidai.html>

ムーンショット目標案

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tougou-innovation/dai6/siryoo6.pdf>

内閣府「ムーンショット型研究開発制度」

<https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/index.html>

首相官邸「統合イノベーション戦略推進会議」

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tougou-innovation/>

関連記事

2020年01月15日「启动全球关注的研发项目，日本大力推进真正的创新」

[http://www.keguanjp.com/kgjp\\_jiaoyu/kgjp\\_jy\\_cxy/pt20200115000004.html](http://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_cxy/pt20200115000004.html)